

授業計画書

学部	風	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	K1・K2	
科目名			文章表現力対策Ⅱ			講師名	岩村洋子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	学習塾で8年間、主に小中学生の国語を指導後、就職支援講座に携わる。履歴書やエントリーシートの書き方、筆記試験対策等を指導。現在9年目。大学では正課授業も担当。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<p>営業制度の基本的部分学ぶことにより、就職後即戦力として活躍できるようにする。また遺失物や現金の取扱いを誤ると社会的信用に関わる重大な問題になることを教え込む。</p>				<p>授業形態：講義</p> <p>講義でポイント解説後、志望する会社に応じて対応</p>				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	文章をブラッシュアップする				手直しすることで得られる効果を学ぶ			
2	自己PR				前期の内容を活用し、自己PRを完成させる			
3	学生時代ががんばったこと①				前期の内容を活用して書く			
4	学生時代ががんばったこと②		筆	10	ブラッシュアップし、完成度を上げる			
5	志望動機①		筆	10	志望する会社の情報を収集・分析する			
6	志望動機②		筆	10	入社後の自分をイメージする			
7	志望動機③		筆	10	入社したいという意欲と情熱が伝わる志望動機を書く			
8	志望動機④		筆	10	入社したいという意欲と情熱が伝わる志望動機を書く			
9	文章の完成度を上げる				自己PR・学生時代ががんばったこと・志望動機を完成させる			
10	10年後の自分				未来の自分を語る			
11	エントリーシートの作成				自分が志望する会社のエントリーシートを書く			
12	エントリーシートの作成				自分が志望する会社のエントリーシートの完成度を上げる			
13	試験WEEK		櫃	50	持ち込み：なし			
14	フィードバック				総復習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>授業内テストにより評価</p> <p>11/11・11/18・11/25・12/2・12/9 授業内にて筆記試験実施（各10点満点×5回）</p> <p>試験WEEK 筆記試験実施（50点満点）</p> <p>合計100点満点</p> <p>追試については下記参照。授業内で実施。</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>『就職に向けての文章力講座』</p>	

授業計画書

学部	昼	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	K	
科目名			フィジカルトレーニングⅡ			講師名	今西 真悟	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	当該授業の担当歴1年半。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> • 基礎体力と筋力アップを図り、健康的な体を作る。 • 団体競技を通して、チームワークを身に付ける。 • 体調管理に留意し、健康体で授業を受講する。 				授業形態：講義 外部のグラウンドを使用して各種競技を実施する。団体競技についてはチームワークが求められる競技種目を選択する。 (運動にふさわしい服装で出席すること)				
				授業スケジュール				授業内テスト
実施回数				内容	点数			
1	オリエンテーション・種目決定					授業の目的・進め方・評価方法を知る。種目を決定する。		
2	タイムトライアル			実技	10	自身の体力を知る。		
3	団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
4	団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
5	団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
6	団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
7	団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
8	団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
9	持久走、団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
10	持久走、団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
11	持久走、団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
12	持久走、団体競技			実技	10	基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		
13	試験WEEK					持ち込み：		
14	タイムトライアル					自身の体力を知る。		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対象者については、母数減らしとします。 (各種書類の提出は必要です)					A 80点以上			
					B 70点以上			
C 60点以上		D 59点以下						

授業計画書

学部	昼	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	K	
科目名			駅員乗務員実務Ⅱ			講師名	JR西日本交通サービス東根 利直	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		JR西日本（契約社員）：大阪駅改札1年、出札4年 JR西日本交通サービス：駅勤務3年、エリア長1年、本社勤務5年（自社新入社員及びJR契約社員の営業制度・マルス講師等担当）			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
講師の実務経験から駅員の仕事を学び就職活動に生かしていく。また営業制度の基本的部分学ぶことにより、就職後すぐに実践できるようにする。					授業形態：講義 改札・出札業務では実際起こりえるトラブル等を想定して、対処方を学ぶ。また営業制度ではなぜ決められているか、どのようなものがあるかの基本を学習していく。			
					実施回数	授業スケジュール		授業内テスト 内容
1	オリエンテーション・駅員の仕事				講師紹介・駅員のいろいろな仕事を学びます。			
2	出改札業務				ロープレ形式で駅員の仕事を学びます。			
3	実技試験		実技	15	復習及び実技試験を実施します。			
4	旅客営業規則とは				不特定多数のお客様との契約方法を学びます。			
5	時刻表の見方①				駅員として最低限必要な時刻表の見方を学びます。			
6	時刻表の見方②・筆記試験（小テスト）		筆記	15	駅員として最低限必要な時刻表の見方を学びます。			
7	鉄道地理				JRの特急列車の運行系統や、観光地への行き方を学習します。			
8	乗車券類の種類と組合せ				きっぷの発売条件や種類、組合せを学習します。			
9	筆記試験（小テスト）・定期券、回数券、団体乗車券		筆記	20	定期・回数券・団体乗車券の発売条件等を学びます。			
10	乗車券類の効力				有効期間や途中下車について学びます。			
11	乗車変更の取扱い				乗車変更の基本を学びます。			
12	払いもどし				払いもどしの基本を学びます。			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：時刻表・電卓			
14	まとめ（振り返り）				後期のまとめをします。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10月17日 実技試験（公欠の場合は母数減らし） 11月14日 筆記試験（公欠の場合は母数減らし） 12月5日 筆記試験（追試の場合は下記参照）					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		時刻表 プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	鉄道サービス	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	K	
科目名			芝居表現トレーニングⅡ			講師名	西岡裕子	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	劇団ひまわりにて演劇の基礎を学び、俳優活動歴22年。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
鉄道マンに必要な不可欠な様々な力を伸ばす。期末には発表会を行い、人前に立つことに慣れ、大きな声を出すこと、自分の個性を出すことを覚える。また、就職面接や将来にむけて自分の苦手意識や消極性を払拭し、自分の言葉で自分の想いを自信をもって伝えられる自己発信力を養う。					授業形態：講義 期末発表会に向け、シアタートレーニングや演劇作品の創作に取り組む。 シャーシなどの動きやすい服装で出席のこと。スカートやスーツ、ヒールなど、動きが制限される服装での出席は認めません。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	シアタートレーニング				今までのトレーニング成果を思い出す			
2	シアタートレーニング・台本				前期よりも難しいトレーニングに挑戦			
3	シアタートレーニング・台本				発想力の強化・発表作品の理解			
4	キャスティング				自分の役割の把握・理解			
5	作品創作				動きや立ち位置をしっかりと覚える			
6	作品創作		実技	30	台詞はすべて覚えて			
7	作品創作				役の感情を考え表現してみる			
8	作品創作				細かな部分の修正			
9	作品創作		実技	20	台詞・動きともに完成させる			
10	作品創作		実技	30	年内に創ったものからさらに上を目指す。			
11	作品創作				音響・照明含め作品完成			
12	最終リハーサル				すべて本番通りに通す。			
13	試験WEEK 合同発表会		実技	20	今までやってきたことに自信を持って			
14	1年振り返り				自分を振り返り来年にむけての目標を立てる。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/13 セリフ暗記テスト…30点 12/4・1/15 動き・セリフ・表現力テスト…20点/30点 試験WEEK発表会…20点 計100点満点 追試が発生した場合は、追試申請書提示の回で行う。 必ず公欠になった次の週の授業開始前に提示すること。 ※内容は授業内テストと異なる					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		演劇台本	

授業計画書

学部	風	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目	
総時間数			30	単位数	2	クラス	K		
科目名			鉄道業界対策			講師名	里口 邦夫		
担当講師の実務経験		○	実務経歴	関西の鉄道会社で6年間弱勤務。駅員、車掌、運転士を担当する。					
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方					
<ul style="list-style-type: none"> • 業界研究を中心に、なぜ鉄道会社を志望するかということ掘り下げて考える • 鉄道業界で求められている人材像を考える 				授業形態：講義					
				①少人数のグループ分けをし、各々が責任を持って企業について調べる ②プレゼン発表することにより、人前で話すことに慣れるとともに、人に理解してもらえるように話す技術を身に付ける					
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
				内容	点数				
1	授業紹介					後期の授業紹介			
2	日本の鉄道会社を知る					国内約200社の鉄道会社の特徴を学ぶ			
3	先輩社員の話を聞く（近鉄）			課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる			
4	先輩社員の話を聞く（JR西日本）			課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる			
5	先輩社員の話を聞く（南海）			課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる			
6	先輩社員の話を聞く（北大阪急行）			課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる			
7	先輩社員の話を聞く（近江）			課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる			
8	先輩社員の話を聞く（JR東海）			課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる			
9	研修旅行先について調べる			課題	10	九州研修旅行の企業について調べる			
10	先輩社員の話を聞く（大阪メトロ）			課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる			
11	先輩社員の話を聞く（東京メトロ）			課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる			
12	フィールドワーク			課題	10	フィールドワーク			
13	試験WEEK					持ち込み：			
14	まとめ								
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材	
10/18 課題 10点 10/25 課題 10点 11/1 課題 10点 11/8 課題 10点 11/15 課題 10点 11/29 課題 10点 12/6 課題 10点 1/17 課題 10点 1/24 課題 10点 1/31 課題 10点						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	K	
科目名			接客手話Ⅰ			講師名	西田 春美	
担当講師の実務経験		○	実務経験					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
聴覚障害者への理解を深め、基本コミュニケーションに必要な手話その他の手段を見につける。手話を通じて豊かな表現力を習得し、ホスピタリティの実践につなげる。全国手話検定5級を取得可能まで到達する。					授業形態：講義			
					手話の実技学習、表現練習と並行して、聴覚障害に関するミニ講義も組み入れる。 手話検定5級対策として、手話の読取り学習と手話による1分間スピーチを行う。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業オリエンテーション・氏名の手話表現（第3講座）				「なぜ手話を学んで欲しいのか」を理解する。自分・講師・クラスメイトの氏名を手話で表現する。			
2	あいさつの手話・聴覚障害に関する理解（手話の特徴など）		①	10	基本的なあいさつの手話表現ができる。「聞こえなくて困ること」をグループワークで理解する。			
3	伝え合ってみましょう（1,2講座）コミュニケーションの方法				言語以外の手段で伝え合つことを体感・体得する。手話以外のコミュニケーション手段を理解する。			
4	家族&数字表現（4講座）				家族紹介の手話表現と数字の表し方を覚える。			
5	さまざまな数字表現（5講座）				数字を使って誕生日・時間・金額等が表現できる。			
6	指文字使用				指文字を使って様々な固有名詞を表現できる。			
7	仕事・趣味・好きなもの（6講座）				自分の趣味や、将来の仕事・夢を手話表現できる。			
8	仕事・趣味・好きなもの（7講座）				自分の趣味や、将来の仕事・夢を手話表現できる。			
9	住所・都道府県（8講座）				手話で道案内ができる。自分の住所、出身地を表現できる。			
10	自己紹介（9講座）				手話で簡単な自己紹介スピーチができる。			
11	手話表現実技テスト		②	40	自己紹介1分間スピーチ及び講師の質問に答えられる。			
12	手話読み取り筆記テスト		③	50	相手の表現をどれだけ理解できるかチェック。聴覚障害に関する理解力を確認。			
13	試験WEEK				1/0			
14	ふりかえり総復習・手話検定5級対策				手話検定5級対策			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
3回の授業内テストで評価する追試については下記の通り					A 80点以上		手話で学ぼう 手話で話そう	
					B 70点以上			
C 60点以上								
D 59点以下								

授業計画書

学部	風	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	K1/K2	
科目名			鉄道面接対策 I			講師名	篠原	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	観光業界の就職担当10年、多くの学生の面接指導に携わる。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> ・面接やグループディスカッションの実践により内定につなげる。 ・一人一人の個性を生かしたプレゼンテーション能力を身に付ける。 ・鉄道業界以外にも視野を広げ、時事問題にも対応できる力を身に付ける。 ・面接試験を想定したビジネスマナーや身だしなみを身に付ける。 				授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・各項目のポイントについては講義形式とする。 ・面接やグループディスカッションについてはロールプレイング形式とする。 				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容や進め方を理解する。			
2	GRP面接				GRP面接の形式やマナーについて学ぶ。			
3	GRP面接		実技	10	ロールプレイングから個々の課題を把握する。			
4	自己PR				相手に伝わる話し方を身に付ける。			
5	自己PR		実技	10	相手に伝わる話し方を身に付ける。			
6	グループディスカッション		実技	10	グループディスカッションの形式やマナーについて学ぶ。			
7	グループディスカッション		実技 課題	10 10	グループディスカッションの実践。			
8	志望動機		実技	10	相手に伝わる話し方を身に付ける。			
9	志望動機		実技	10	相手に伝わる話し方を身に付ける。			
10	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
11	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
12	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	GRP面接/まとめ				振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については以下のとおりとする。 実技……母数減らしとする。 課題……翌週の授業までに提出すること。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート	

授業計画書

学部	風	科 コース	鉄道サービス	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	K(A)	
科目名			筆記試験対策Ⅱ			講師名	阿比子美由紀	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	大手通信会社にて3年間、設計担当等に従事。塾講師、家庭教師などを経て、ウォーキング・立居振舞い講師5年。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道業界就職に必要な筆記試験に対応できる基礎能力を身につける。 ・一般常識、時事問題などを通して社会人として社会に興味を持ち、意識向上をはかる。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・就職試験における第一関門である一般常識問題を、言語分野、非言語分野、時事問題などの問題練習などにより実力を養成する。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーションと基礎問題				授業の進め方と筆記試験対策			
2	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
3	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
4	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
5	筆記試験と言語分野		筆記	15	筆記試験/問題の習熟			
6	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
7	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
8	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
9	筆記試験と言語分野		筆記	20	筆記試験/問題の習熟			
10	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
11	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
12	言語分野と非言語分野		課題	15	課題作成			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：不可			
14	まとめ				質疑応答とまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/18 筆記15点 12/11 筆記20点 2/3 課題作成15点 <<課題提出>> 公欠の場合、母数減らしにて評価。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		テキストはありません。 授業内にてプリントを配布します。	

授業計画書

学部	風	科 コース	鉄道サービス	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	○	
科目名			フィジカルトレーニングⅣ			講師名	篠原 健太	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	フィジカルトレーニングの授業歴15年			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
①基礎体力・筋力アップを図り、健康的な体を作る ②団体競技を通りしてチームワークの大切さを学ぶ ③体調管理に留意し、健康体で授業を受講する					授業形態：講義			
					外部のグラウンドを使用して各種競技を実施する。 団体競技についてはチームワークが求められる競技種目を選択する。			
実施 回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記 事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・体力測定・チーム分け				授業の目的・進め方・評価方法を知る。種目を決定する。			
2	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
3	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
4	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
5	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
6	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
7	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
8	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
9	団体競技				基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
10	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
11	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
12	団体競技		実技	10	基礎体力、およびチームワークを身に付ける。			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	振り返り・体力測定							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
実技10点×10回 追試は実施しません。 追試受験資格者については、母数減らしとします。 追試受験資格者は、以下の注意事項をよく読み必要な書類を提出してください。					A 80点以上			
					B 70点以上			
					C 60点以上			
					D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	科 コース	エアライン鉄道サービス	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	O/Q	
科目名			セルフスタイリング			講師名	阿比子美由紀	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴	大手通信会社にて3年間、設計担当等に従事。塾講師、家庭教師などを経て、ウォーキング・立居振舞い講師5年。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
・社会人として必要な知識を知るとともに、視野を将来に広げ、毎日の生活を見直し、個性を表現する感性を磨く。					授業形態：講義 ・社会人として必要な一般教養を身につけ、将来に役立てられるようになる。 ・社会人としてふさわしい立居振舞いを身につけ、健康的な生活のための知識を身につけ、実践を行う。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション				社会人として備えるべき知識			
2	健康的な生活について				食や生活について見直す			
3	健康的な生活について				姿勢と歩き方、日常に生かす			
4	姿勢と歩き方/将来のプラン		実技	15	将来の夢とシュミレーション			
5	筆記試験とエクササイズ		筆記	20	健康維持について			
6	一般常識問題				地理			
7	一般常識問題				問題を解く			
8	言語分野と非言語分野				問題を解く			
9	言語分野と非言語分野				問題を解く			
10	言語分野と非言語分野				問題を解く			
11	言語分野と非言語分野				問題を解く			
12	課題作成		課題	15	まとめの課題			
13	試験WEEK				持ち込み：不可			
14	まとめ				発表			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
実技試験・課題提出について公欠の場合は母数減らしにて評価					A 80点以上		テキストはありません。 授業内にてプリントを配布します。	
					B 70点以上			
					C 60点以上			
					D 59点以下			

授業計画書

学部	風	科 コース	鉄道サービス科 エアライン科	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	O/Q	
科目名			マーケット研究			講師名	小澤 和哉	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	旅行業界に11年間勤務。 外国籍アウトバウンド手配・海外旅行企画・手配・販売・営業として旅行業務全般を担当。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行の目的となるマーケットについて知識を習得する ・幅広い客層の様々な目的に対応できる広い分野の教養を身に付ける ・11/8(金)に世界遺産・吉野へのFWを実施(朝7:00~18:30予定)アルバイト等の予定を調整して 				授業形態：講義 各分野のプロや講師を招き、観光業界のマーケットについて知識を深める。 ※現役の講師を手配しているため、仕事等の関係で授業スケジュールが変更となる場合があります。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション ゴルフマナーを学ぶ		課題	10	授業の進め方等を学ぶ。 ゴルフをする際のマナーを学ぶ。			
2	知っておきたいお金のこと		課題	10	お金についての知識を深める。			
3	SNSから学ぶ観光地理		課題	10	SNSに掲載された観光地について知識を深める。			
4	登山とトレッキングマーケット		課題	5	登山とトレッキングに必要な知識を学び、フィールドワークに向けた準備を行う。			
5	写真撮影を学ぶ		課題	10	写真撮影の基礎から応用を学ぶ。 ※カメラを持参ください			
6	世界遺産吉野山登山FW		課題	15	世界遺産吉野山の魅力と登山についての知識をFWを通して学ぶ。			
7	オシャレなスマホ活用術				スマホで撮影する際のポイントや技術を学ぶ。			
8	ライフプランニング		課題	10	社会保険や税金、将来必要になるお金について学ぶ。			
9	ラスベガスの楽しみ方		課題	10	ラスベガスの楽しみ方について学ぶ。			
10	B級グルメについて 宴会マナーについて		課題	10	日本全国のB級グルメと、宴会時のマナーについて学ぶ。			
11	IRとカジノ演習①		筆記	10	IRの基礎を学び、知識を深める。			
12	IRとカジノ演習②				IRについて学び、実際に体験する事で、カジノについて知識を深める			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	(休講)							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については以下のとおりとする。 課題……母数減らしとする。 筆記……別途実施日を案内する。 ※いずれも申請は必要					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	JA2	
科目名			鉄道面接対策Ⅰ			講師名	橋本 拓也	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	当校において就職活動の指導に5年間従事。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・面接やグループディスカッションの実践により内定につなげる。 ・一人一人の個性を生かしたプレゼンテーション能力を身に付ける。 ・面接試験を想定したビジネスマナーや身だしなみを身に付ける。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・各項目のポイントについては講義形式とする。 ・面接やグループディスカッションについてはロールプレイング形式とする。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容や進め方を理解する。			
2	GRP面接				GRP面接の形式やマナーについて学ぶ。			
3	GRP面接		実技	10	ロールプレイングから個々の課題を把握する。			
4	自己PR				相手に伝わる話し方を身に付ける。			
5	自己PR		実技	10	相手に伝わる話し方を身に付ける。			
6	グループディスカッション		実技	10	グループディスカッションの形式やマナーについて学ぶ。			
7	グループディスカッション		実技	10	グループディスカッションの実践。			
8	志望動機				相手に伝わる話し方を身に付ける。			
9	志望動機		実技	10	相手に伝わる話し方を身に付ける。			
10	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
11	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
12	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	GRP面接/振り返り				後期の振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については母数減らしとする。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート	

授業計画書

学部	夜	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	JA2	
科目名			駅員乗務員実務Ⅱ			講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	関西の鉄道会社で6年間弱勤務。 駅員、車掌、運転士を担当する。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
駅員、乗務員の役割を学び、就職活動に活かしていく。 駅または列車内で実際に使う業務を学び、就職後すぐに実践できるようにする。					授業形態：講義 ・改札、出札、車掌業務から接遇を学ぶ。 ・実技の回数を多くすることで、見られるプレッシャーに強くなる			
					実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数
1	オリエンテーション				後期の授業紹介			
2	旅客営業規則				旅客営業規則を理解し、対応できる			
3	旅客営業規則				旅客営業規則を理解し、対応できる			
4	出札業務				駅の出札を知る(時刻表)			
5	出札業務				駅の出札を知る(時刻表)			
6	筆記テスト①		筆記	20	旅客営業規則、出札のまとめテスト			
7	実技テスト①		実技	20	出札業務の実技テスト			
8	ダイヤグラム				ダイヤグラムを読むことができる			
9	ダイヤグラム				ダイヤグラムを利用し、お客様に案内できる			
10	車内改札				車内改札業務を行う			
11	車内改札 実技テスト②		実技	20	車内改札の実技テスト			
12	鉄道サービス科フィールドワーク							
13	試験WEEK		筆記	40	持ち込み：不可			
14	まとめ							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/8 筆記テスト① 20点 11/15 実技テスト① 20点 1/24 実技テスト② 20点 試験WEEK 筆記テスト② 40点					A 80点以上			
					B 70点以上			
					C 60点以上			
					D 59点以下			

授業計画書

学部	夜	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	JA2	
科目名			鉄道業界対策			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経験						実務経歴		
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> • 業界研究を中心に、なぜ鉄道会社を志望するかということ掘り下げて考える • 鉄道業界で求められている人材像を考える 					授業形態：講義 ①少人数のグループ分けをし、各々が責任を持って企業について調べる ②プレゼン発表することにより、人前で話すことに慣れるとともに、人に理解してもらえるように話す技術を身に付ける			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業紹介				後期の授業紹介			
2	日本の鉄道会社を知る				国内約200社の鉄道会社の特徴を学ぶ			
3	先輩社員の話を聞く（近鉄）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
4	先輩社員の話を聞く（JR西日本）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
5	先輩社員の話を聞く（南海）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
6	先輩社員の話を聞く（北大阪急行）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
7	先輩社員の話を聞く（近江）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
8	先輩社員の話を聞く（JR東海）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
9	研修旅行先について調べる		課題	10	九州研修旅行の企業について調べる	OB		
10	先輩社員の話を聞く（大阪メトロ）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
11	先輩社員の話を聞く（東京メトロ）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
12	先輩社員の話を聞く（京阪）		課題	10	企業の長所を知り、志望動機へ繋げる	OB		
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	まとめ							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
第3～12回 課題 各10点×10回=100点満点					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント配布	

授業計画書

学部	夜	科 コース	鉄道サービス	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	JA2	
科目名			筆記試験対策Ⅱ			講師名	阿比子美由紀	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	大手通信会社にて3年間、設計担当等に従事。塾講師、家庭教師などを経て、ウォーキング・立居振舞い講師5年。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道業界就職に必要な筆記試験に対応できる基礎能力を身につける。 ・一般常識、時事問題などを通して社会人として社会に興味を持ち、意識向上をはかる。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・就職試験における第一関門である一般常識問題を、言語分野、非言語分野、時事問題などの問題練習などにより実力を養成する。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーションと基礎問題				授業の進め方と筆記試験対策			
2	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
3	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
4	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
5	筆記試験と言語分野		筆記	15	筆記試験/問題の習熟			
6	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
7	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
8	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
9	筆記試験と言語分野		筆記	20	筆記試験/問題の習熟			
10	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
11	言語分野と非言語分野				問題の理解と習熟			
12	言語分野と非言語分野		課題	15	課題作成			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	まとめ				質疑応答とまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/5 筆記15点 12/3 筆記20点 1/28 課題作成15点 ≪課題提出≫ 公欠の場合、母数減らしにて評価。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		テキストはありません。 授業内にてプリントを配布します。	

授業計画書

学部	夜	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	LA2	
科目名			文章表現力対策 I			講師名	末包 民代	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	公立中学校国語教師を10年、塾講師を18年経験した後、本校にて、鉄道科夜間部のエントリーシート、面接対策を担当			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
① 正しい日本語を使ってわかりやすい文を書くこと ② 語彙力を向上させ、言葉を選んで書くこと ③ 魅力と意欲を伝える表現技術を身につけること ④ ビジネスにも通用する論理的思考法を身につけること ⑤ 書くことを楽しめるようになること					授業形態：講義 講師レジュメにより講義、実践ワーク、振り返り 残した場合は宿題となる。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	文章作成の基礎 ①				正しい日本語を書く（主述、混在防止）			
2	文章作成の基礎 ②				適当に区切る 重複を避ける			
3	説得力のある文章にする ①				あいまいな表現を避ける			
4	説得力のある文章にする ②		筆記①	15	長い文では読み手に「予告」をする			
5	自己PR ① 土台作り				自己分析をして言いたいことを整理する			
6	自己PR ② 削ってから膨らませる				時系列、数字、削る、膨らませる			
7	自己PR ③ 完成提出		課題	20	今までの参考に自己PRを仕上げる			
8	エントリー対策 作文 ①		筆記②	15	学生時代に頑張ったこと			
9	エントリー対策 口頭発表（面接）		実技	10	学生時代に頑張ったことを発表する（1分）			
10	企業研究と志望動機を考える				ステージと志望動機をリンクさせる			
11	国語的能力を高める ①				文法、漢字など国語のスキルをあげる			
12	国語的能力を高める ②				文法、漢字など国語のスキルをあげる			
13	試験WEEK		筆記③	40	持ち込み：なし			
14	効果的な1分間スピーチ				たった1分で大切なことをプレゼンする			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<授業内試験> ① 10月30日 筆記試験（15点） 19:50開始10分 ② 11月27日 筆記試験（15点） 19:50開始10分 * 公欠の際は 母数減らし とする <課題> 11月20日 自己PR提出（20点） * 公欠の際は 11/27提出 <実技> 12月 4日 自己PRプレゼン（10点） * 公欠の際は 講師に確認					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		講師レジュメ （Wing Station 作成） その他ワーク・資料 参考資料： わかるように書ける力	

授業計画書

学部	夜	科 コース	旅行・エアライン・鉄道	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	JB・LB	
科目名		マーケット研究				講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	関西の鉄道会社で6年間弱勤務。 駅員、車掌、運転士を担当する。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
①旅行の目的となるマーケットについて知識を習得する ②幅広い客層の様々な目的に対応できる広い分野の教養を身につける ③11/8(金)に世界遺産・吉野へのFWを実施(朝7:00～18:30予定)アルバイト等の予定を調整してお				授業形態：講義 各分野のプロや講師を招き、観光業界のマーケットについて知識を深める。 ※現役の講師を手配しているため、仕事の関係で、授業スケジュールが変更となる場合があります。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標		特記事項	
			内容	点数				
1	オリエンテーション 駅弁について		課題	15	授業の進め方を学ぶ。 駅弁について学ぶ		里口	
2	登山とトレッキングマーケット (10/21分)		課題	5	登山とトレッキングに必要な知識を学び、 フィールドワークに向けた準備を行う		小井手先生	
3	写真撮影を学ぶ		課題	15	写真撮影に必要な専門知識を学ぶ※カメラを持参してください		藤原先生	
4	世界遺産吉野山登山FW		課題	15	世界遺産吉野山の魅力と登山についての知識をFWを通して学ぶ		小井手先生	
5	イスラム入門Ⅰ				イスラム教についての知識を学ぶ		小路先生	
6	イスラム入門Ⅱ				イスラム教についての知識を学ぶ		小路先生	
7	空港・航空業界を学ぶ		課題	15	空港の裏側を学び、航空業界の流れを学ぶ		今西先生	
8	知っておきたいお金のこと		課題	10	お金についての知識を深める		大内先生	
9	休講							
10	IRとカジノ演習①(1/20分)		筆記	10	IRの基礎を学び、知識を深める		清水先生	
11	IRとカジノ演習②(1/27分)				IRについて学び、実際に体験することで、 カジノについて知識を深める		清水先生	
12	まとめ 外食業界について		課題	15	授業のまとめをする 外食業界について学ぶ		里口	
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	休講							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については以下のとおりとする 課題・・・母数減らしとする 筆記・・・別途実施日を案内する ※いずれも申請は必要					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	旅行・エアライン鉄道サービス	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	JB/LB	
科目名			観光実務			講師名	小井手桂祐	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴	旅行会社で約8年間勤務。 職種は一般・学校団体の営業・企画・手配・添乗業務。 国内旅行・海外旅行いずれも担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. JR時刻表を早く正確にひけるようになる。 2. 九州・北海道の観光資源を覚える。 3. 海外旅行に必要な基礎知識を覚える。					授業形態：講義 1. JR時刻表を活用し列車等の時刻や運賃料金を調べる。 2. 九州・北海道の観光資源をプリントを使い学ぶ。 3. 海外旅行に必要な基礎知識をプリントを使い学ぶ。			
実施 回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記 事項		
			内容	点数				
1	JR時刻表①（新幹線）				新幹線の時刻、運賃・料金を調べることができる。			
2	新幹線に関する試験 JR時刻表②（特急列車1）		筆	10	新幹線・特急列車の時刻、運賃・料金を調べることができる。			
3	JR時刻表③（特急列車2）				特急列車の時刻、運賃・料金を調べることができる。			
4	特急列車に関する試験 JR時刻表④（乗り継ぎ）		筆	10	新幹線と特急列車の乗り継ぎについて時刻、運賃・料金を調べることができる。			
5	JR時刻表⑤（会社線）				会社線の時刻、運賃料金をしらべることができる。			
6	吉野山登山フィールド							
7	JR時刻表に関する総合試験 九州①		筆	30	九州の観光資源を覚える。			
8	九州②				九州の観光資源を覚える。			
9	九州③ 九州に関する試験		筆	20	九州の観光資源を覚える。			
10	北海道①				北海道の観光資源を覚える。			
11	北海道② 北海道に関する試験		筆	20	北海道の観光資源を覚える。			
12	海外旅行の基礎知識&試験		筆	10	海外旅行の基礎知識を覚える。 (パスポート、出入国手続、航空機、時差等)			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	観光地に関するまとめ				国内・海外の有名な観光資源を覚える。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
■筆記試験 ①10/11実施：10点 ⇒ 母数減らし ②10/25実施：10点 ⇒ 母数減らし ③11/15実施：30点 ⇒ 担当講師に追試日を確認 ④12/6実施：20点 ⇒ 担当講師に追試日を確認 ⑤1/24実施：20点 ⇒ 担当講師に追試日を確認 ⑥1/31実施：10点 ⇒ 母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		○JR時刻表 ○旅に出たくなる地図（日本） ○国内観光資源 ○配布プリント	